

して健全なる無産政党を成立せしむべく努力す
 但し、総同盟は共産系排除の態度を以て無産政党創設
 會に臨む。右の趣旨に基き、左の五名の委員を選ん
 新に當らしむ。
 藤生、西尾、山名、成松、松岡
 右政治部會終了後直ちに中央委員會を開催し、政治部會
 の決定も承認す。
 然るに翌三月一日の新頭紙上に種々誤解が傳はつたので
 更に中央委員會は左の声明書を発表した。
 労働總同盟の無産政党同盟に對する態度に就いて新聞紙
 上に種々の誤解が傳はつて居る様であるが、我等の態度の
 奥想を述べざるには、天産系排除の態度が一貫して居るけ
 り。其の内容は次の如くである。
 第一、無産政党の性質は反共産党たる事を要す。此の
 去る一月の格三日の懇談會の申合せの精神に一致する

しのと考へる。
 第二、評議會 政治研究会 無産青年同盟 水戸杜無産
 者同盟に属するものを一切政党の構成分子より除外する
 と。此の真に就いては懇談會の申合せと多少の意見の
 一致を生じて居るが、我等は此の真につき、友誼団体の諸局
 と充分の協議を遂げたいと希望して居る。
 第三、いかなる団体たると個人たるとを問はず、天産系
 と目される者を政党の構成分子より除外すること。此の
 真は前記の懇談會の申合せと一致するものと考へる。此の
 真につは個人の氏名を指摘して種々指撃懲罰の行はれるこ
 とは我等の心外とする所である。
 尚世上に於て總同盟が政党の党主及其他の事項についで
 独自の要求を押し居るかの如く傳へられ居るが、之は
 全く事實に反するものであつて、我等は之等の事項に關し
 ては全然協議せざるものである。